

■ 教育目標「学び合い 高め合い とともに伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

学校だより

令和2年5月20日発行

学校だよりNo.3

佐渡市立七浦小学校
佐渡市稲鯨1312番地

Tel: 0259-76-2322

Fax: 0259-61-4955

mail: nanaura-es@sado.ed.jp

♪ 令和2年度より七浦小学校はコミュニティ・スクールとなりました♪

前を向いて歩こう

校長 山口 明美

今年も学校の玄関にツバメが巣を作りました。子育てを見守るのが毎日の日課になっています。学校が休校中に作った巣は、残念ながら途中で崩れ落ちてしまいました。しかし、すぐに新たな巣作りに取りかかり、あっという間に2つ目の巣が出来上がりました。ツバメが巣を作る建物は縁起が良いと言われています。ツバメの子育てが終わり南の国に旅立つ頃には、徐々に学校生活が通常に戻っていることを子どもたちと共に祈りたいと思います。



さて、保護者の皆様には毎日の検温、マスクの着用、家庭で過ごす時間の対応等、新型コロナウイルス感染予防においてのご協力に感謝申し上げます。しかし、学校では、文部科学省が提唱する感染予防のための「密閉」「密集」「密接」を避けての教育活動は、一時は避けられても常にその状態を維持することは極めて難しいと感じています。また、臨時休業によって失われた授業時数の確保や感染リスクを考慮し、2学期に延期した学校行事や残念ながら中止した活動もいくつかあります。これまで「当たり前」として取り組んできた学校の活動の見直しに向き合う毎日です。

3月に行われた卒業式も、これまでの慣行通りにはいきませんでした。学校にとって卒業式は最も大事な儀式的行事です。そのため練習に時間を費やしてきました。ところが、今回は、練習はほとんどできずぶっつけ本番で迎えました。しかし、卒業生たちは卒業証書を受ける時も、門出の言葉を語る時もとても集中した立派な態度でやり遂げました。そして、その姿に心打たれ感動した保護者、学校職員の姿がありました。また、担任は「教員になって6年生を10数回担任したけれど、自分の卒業式も含めて今回の卒業式が一番感動しました。」と感想を述べています。その場に参列したみんなの様々な思いが重なった今回の卒業式でしたが、学校の在り方を見直す大変良いきっかけとなりました。今回の新型コロナウイルス問題をすべて負の考え方とせず、私たちの意識を変えるきっかけと受け止め、前を向いて進んでいこうと思います。